

事業所名

あまーち for ゆう

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

7年

3月

4日

法人 (事業所) 理念	私たちはどんな障害のある人も地域の中で、自分らしく暮らして行ける環境づくりを目指しています。・なかま、利用者の自己選択・自己実現を尊重します。・なかま、利用者との人たちの人権と発達を保障し、社会参加と自立を支援します。・障害のあるなしにかかわらず、安心して幸せに暮らしていける世の中になるように、多くの人たちと手をつないで共に歩んでいきます。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の疲れを癒し、好きなことを楽しむ「個」の時間と活動やイベント参加等「集団」の時間を組み合わせながら充実した時間を過ごす。</li> <li>・安心安全に過ごすことができるように医療的ケアや体の取り組みを実施する。</li> <li>・ご家族の負担軽減のために入浴介助や送迎を行う。</li> </ul>						
営業時間	平日	14時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	○あり なし
営業時間	休日	11時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	○あり なし
本人支援	健康・生活	バイタルの計測や顔色や身体の状態など、引継ぎ時に学校や家族からの健康状態の確認を行います。個々に応じた医療的ケアを、看護師または喀痰吸引研修を受講した職員が細心の注意をした上で実施します。食事介助は、安全に気を付け個々の状態に合わせた形態の食事を姿勢などに考慮しながら栄養士が作成した食事を提供します。感染防止に配慮します。・入浴をすることで清潔を保ちます。					
	運動・感覚	身体を動かしたり、体位交換やマッサージを実施します。PTによる訓練を実施し運動機能の維持をします。スノーズレンで光を見ながらリラックスしたり、音楽を聴く中で感覚を育みます。ハンモックに乗って揺られながら筋緊張をゆるめ、心地よさを味わいます。公園遊びを通じて遊具に触る、乗り物に乗るなど感覚を養います。夏にはビニールプールに入り水の感覚を味わいます。					
	認知・行動	視覚や聴覚、触覚などの感覚を使い周囲の情報を受け取ることで認知機能を促すことにつなげます。個々の子どもの特性に配慮した支援を実施します。始めの会で個々のスケジュールを伝えます。					
	言語 コミュニケーション	言語による表出と非言語のそれぞれの表出方法（視線や瞬き、口元を動かすなど）でコミュニケーションを図ります。様々なコミュニケーション手段を活用して、自分の意思を伝えられるように支援します。始めの会で挨拶をします。終わりの会で1日の様子の振り返りを行います。					
	人間関係 社会性	日々の取組の中の集団の取り組みで他児と触れ合ったり、関わる中で他児を認識し楽しむことを支援します。生活介護事業との交流（仕事の体験・喫茶の体験）や地域のイベント（いこいこ水堂祭り・ミーツザ福祉・おもちつきなど）に参加し、地域の方たちや異年齢の障害のある人たちとの交流の中で社会性の習得を目指します。					
家族支援	入浴することでご家族の負担軽減に繋がります。受け入れの要請にできる限り応えられるよう体制の整備を行います。困ったことがあれば相談を受け助言及び解決に向けて行動します。				移行支援	生活介護体験を適宜実施し、卒業後のイメージ作りを行います。ほっとスペースへの移行予定があればスタッフ同士の情報共有を行います。	
地域支援・地域連携	地域の小学生とかかわるイベントやもちつき大会、水堂祭りなどイベント開催を通じて地域との交流を図ります。				職員の質の向上	研修に参加し、資質の向上をします。また、スタッフ会議の開催をし、研修の報告や各種学習会、ケース検討を行います。	
主な行事等	アニマルセラピー・遠足（お花見・ピクニック）・プール遊び・ハロウィンパーティ・おもちつき大会・いこいこ水堂祭り・クリスマス会・あまデミー賞・あまーちフリマ・みんなでダンシング！わくわくカーニバル・生活介護体験・生活介護との交流 向け）個人懇談・全体懇談会 （保護者						